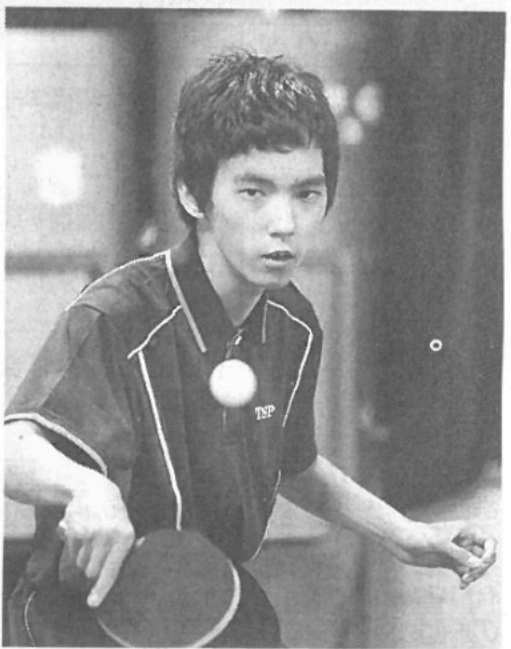


卓球
帯農・武藤君



全道へスマッシュ!

バドミントン
星槎国際・下村君



20、21日に大会

帯広市で5月末に開かれた北海道高校定時制通信制体育連盟日勝支部大会で、帯広農業2年の武藤真紀君(16)が男子卓球で2年連続優勝、星槎国際2年の下村友汰君(17)が男子バドミントンで初優勝を飾った。2人は20、21日に旭川市と滝川市でそれぞれ開かれる全道大会に向け、練習に励んでいる。

支部大会には十勝管内の帯農、星槎国際、帯広柏葉、音更と日高管内の日高の計

「目指すは全道優勝」と意気込む星槎国際の下村君

5校が出場。個人戦の卓球とバドミントン、団体戦のバスケットボールと綱引きの計4種目が行われた。

リーグ戦で争った男子卓球は武藤君が6戦全勝で制した。昨年の全道大会は2回戦で敗れ「どん底に落とされた気分で、本当に悔しかった」という。練習で得意のサーブに磨きをかける武藤君は「敗戦を糧に努力してきた。3位以上を目指し、今年こそ全国大会に出

「昨年の悔しさを晴らす」と練習に励む帯農の武藤君

たい」と力を込める。

初出場で男子バドミントンの頂点に立った下村君は「がむしゃらに戦い、バドミントンの楽しさを思い出した」。中学で競技を始めスポーツ推薦で高校に入ったが、1年の夏に右膝を故障。思うように練習ができず自信を失い不登校に。今春、編入した星槎国際で7カ月ぶりに競技に復帰した。下村君は「膝に不安もあるが、優勝を目指す」と全道大会での活躍を誓う。

(斉藤徹)